

「心肺蘇生法」を学習して

平成24年7月19日 射水市立小杉中学校

7月11日、射水消防署、射水市医師会の医師や看護師の方々12名を講師に招いて、小杉中2年生が、心肺蘇生法の実技講習を受けました。救急車が来るまでの応急手当の手順を学びました。実習後の生徒の感想を一部を紹介します。

僕が今日の実技で大変だったことは、人工呼吸で酸素を送ることと、胸骨圧迫をすることです。とても疲れたので、心肺蘇生は大変だと感じました。一人ですると大変だったので、実際にそういうことがあったらできるだけ人を集めることが大切だと思いました。またその中で自分ができることを一生懸命にやって人々の力になれるようにしたいです。(1組)



今日の話聞いて驚いたことは、119番をしてから救急車が到着するまでの7分間の間に何をすることが大切だと分かりました。実際に体験してみて、胸骨圧迫は、30回ただけでとても疲れました。AEDは落ち着いて機械の指示に従って行うことが大切だと分かりました。大きな声を出さないと周りの人が助けにきてくれないことも分かりました。今日学んだことを忘れないようにしたいです。(1組)

胸骨圧迫、人工呼吸の練習をしました。人工呼吸はコツがあって難しかったです。しっかり空気を入れることができました。心臓マッサージには、リズムがあり、力があるので大変でした。倒れている人を見つけたら、まず落ち着こうと思いました。あと、大声で人に助けを求めようと思いました。一人でしないで、誰かと協力してすることが大切だと思いました。(2組)

人形だから、落ち着いてできたけど、本当の人が倒れていたら、絶対にパニックになるので、落ち着いてすることが一番大切なんだと思いました。AEDは、店や学校でよく見かけるけれど、ちゃんとした使い方は分かりませんでした。今日教わって、どうセットし、電気ショックをするのかが分かりました。

これからは、何かあったときのためにAEDのある場所など分かっておくようにしたいと思います。そして、身の回りの人などに何かあっても、落ち着いて人工呼吸など対応できたらいいなと思いました。(2組)

今日の貴重な実習で今まで疑問に思っていたことがよく分かりました。私は今まで「AED」というものがなぜ置いてあるのか、あまり知りませんでした。けれど、今日のこの時間で、どうやってどんな時に使うのか分かりました。また、胸骨圧迫のやり方も、思っていたのと違って、体力と精神力をつかうものだと学び、大変ためになりました。手で押す場所もちゃんと決まっています。人工呼吸もよく考えられていました。(3組)



僕は人工呼吸と胸骨圧迫だけで人は助かるものだと思っていたけど、今回の講習を聞いて、これはあくまで救急車が来るまでの応急手当であって、これだけでは人は助からないかもしれないということを知りました。倒れている人を見つけたら大きな声で人を呼び、119番通報とAEDを持ってくるよう指示すること、僕たちのような中学生でも人の命を助けることができるから、ためらわず大人の助けを借りること。今日これだけ多くのことを学んだのだから、実際躊躇なくできたらいいなと思います。(3組)

消防署の方が分かりやすい説明をしながらゆっくりとやってみせてくださったので、心肺蘇生法が分かりました。その後の実技では、駒井先生がポイントを詳しく言ってくくださったので、しっかりできました。でも呼吸をしているか確認するところがちょっと分かりませんでした。他の人を見ていて分かりました。人工呼吸のとき、顎を上げるのがポイントだということも忘れないようにしたいです。AEDの使い方は実際には使っていないけど他の人を見ていたので覚えました。救急車が来るまでの約7分の間、胸骨圧迫、心臓マッサージ、人工呼吸、AEDをしっかりして、今日の実技講習を無駄にしないようにしたいです。(4組)

私がこの心肺蘇生法の実技講習に参加して思ったことは、意外と難しいということです。今回は、和気あいあいとした感じの場だったので、落ち着いて取り組むことができたけれど、本当に必要なときは1分1秒を争う場で行わなくてはなりません。「救急車が来るまでは少し時間がかかるので、その場にいたあなたたちが傷病者の生死を左右します。」と言っておられたので、本当に必要になったときには自ら進んでやろうと思いました。(5組)



実技講習では先生が優しく教えてくださったので、しっかりすることができました。他の人のも見ていたので覚えることができました。先生にとっても上手だとほめていただきうれしかったです。いざというときに、一人ではなく周りの人と一緒に協力して助けることも大切だと知りました。助けを求められたときにも進んで協力しようと思いました。

貴重な体験ができたのでよかったです。(4組)



今日の講習を受けて、少しでも早く応急手当をすることが大切だということが分かりました。資料を見て、救急車が来るまでに何もしなかった場合と居合わせた人が救命処置をした場合とでは、助かる確率が全然違うことに驚きました。AEDは、心臓の動きを感じてショックが必要かどうか判断していてすごいと思いました。もし今後このようなことがあったら、今日習ったことを生かしたいです。(5組)

ふだん体験できないことを今日教えてもらうことができてよかったです。AEDの使い方や人工呼吸の仕方などを細かく教えてもらい実習することができたので、これからの生活に生かせると思いました。誰かが倒れていたら積極的に助けてあげようという自信もつきました。(6組)

すごく大きな声と恥ずかしがらずにすることが大切と分かった。心臓マッサージの回数、場所、力の強さなど、気を遣わなければならないことを知って少し難しかった。AEDは意外と簡単なくみになっていて、わかりやすかったです。でも実際になると、難しいだろうなと思いました。すごくいい体験になったと思いました。(6組)